1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 6 月 23 日発行　SSKU　増刊通巻第 6773 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-3337

シャケ Zo くん

# SSKU わくわくかん リボン便り

http://www.wakuwakukan.net/

2020 年 7 月号 No.232

**？？なぜリボン？？**

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

# ＜緊急事態解除＞ゆっくり　少しずつ・・・
## ～体力をもとに戻すことを最優先にして～

### ＜リボーン・響の近況報告＞

リボーンプロジェクトとボランティア響会では、6 月より少しずつプログラムを再開しています。1 か月以上在宅支援を行ってきたため、リボーン訓練生、響のメンバーさん、スタッフ共にまだまだペースがつかめずにいます。

プログラムが再開して嬉しい方もいらっしゃれば、まだ調子がもとに戻っていない方、頑張りすぎて疲れている方等色々な方がいらっしゃいます。通常の通所の他に、現在も在宅支援を取り入れながら、まずは生活リズムや体力をもとに戻すことを優先にしています。

5 月から行っている障害者センターエレベーター工事に伴う案内係のお仕事も、引き続きみんなで協力して行っています。5 月の開始当初は、コロナの影響で来館される方が大変少なく、誘導業務がほとんどありませんでした。しかし、6 月からは来館者が増え始め、以前よりも誘導・案内が必要な場面が増えてきたので、よりやりがいを感じます。

嬉しいことにリボーン・響に見学や体験に来られる方も増え始めました。そのため、プログラム活動の中で「新しい生活様式」を意識し、対策をして過ごしています。密にならないこと、換気、手洗い、消毒をしっかり行い、みんなが安心して過ごすことができる環境を整えています。

### 来館者の案内係を担当して

エレベーター工事期間中に来館者にどこに行きたいかを案内する役目です。実際に、私自身もう一つのエレベーターがあるとは知らず、もし自分が来館したら気付かないと思いました。特に案内係の大きな役目は、

身体に障害のある方、目に障害がある方、子供づれの方への対応だと私は認識します。

案内係を実際やってみると、孤独、睡魔、肩こり、変な緊張にさいなまれました。責任が重いと感じました。待機中にはセンターの図面を見たり、ひとりごとを言ってみたり、ストレッチをしたり、館内を巡回したりしています。それも将来仕事をできるようになった時に活かせると感じています。（Y）

### ブルーインパルスの感謝飛行！

5 月 29 日金曜日、北区上空をブルーインパルスが飛行しました。これは新型コロナウイルス対策に奮闘する医療従事者らに敬意と感謝をこめたものだったそうです。ちょうどお昼休みということもあり、メンバーさんと一緒に真っ青な空に白い飛行機雲が線を描く空を見上げました。

**＜わくわくかん 7 月予定表＞**

- ✧　6 月 30 日（火）　家族懇談会　16:00～
- ✧　7 月 19 日（日）共同連 web 運営会議　10:00～
- ✧　7 月 29 日（水）　現場協議会　16:30～　（スカイブリッジ）

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 6 月 23 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6773 号

# わくわく配食サービス

就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

## 当事者の貢献／負担で質問

6 月の続きで、当事者の正会員の方から、会計報告についての反対意見が出されました。

今月はもう 1 つの質問についてです。質問は、『当事者がどのくらい貢献できているのか、またその逆に負担になっているのか』ということでした。

端的には、齋藤理事長のお言葉を引用させていただくと、『当事者が生き生きと働き事業の発展に貢献でき、また他の働く方に良い影響を与えられることが大切。逆に、他の人に悪い影響を与え事業の発展も阻む様な人は、考えないといけない。』

働く意識が高い方は、お休みの方も多い時は、人がいつもより少ないと自ら進んで少し早く仕事に入り、休憩時間も遅れて取るという方もあります。

雨でも雪でも、自転車配達に行く方もあります。

こうした、仕事を理解しどのくらいの時間で仕事が出来るか考えて責任を持ち行動できる方は、貢献は計りしれないと感謝しています。

逆に、仕事中におしゃべりを始め自分も仕事を出来ないでしょうが、他の人の仕事時間も奪う様な方、体調が悪く仕事に集中出来ない状況の方、急に休むことが頻繁な方、働く方についての悪口やいじめをする方等は、働く場所に相応しいとは言えないでしょう。

こうした質問は、意識が高いからこそでることであると考えます。ありきたりの回答かと思いますが、自分の働く職場を一人一人が守り発展させていくには、どうしたら良いか考える機会をいただいたと感謝します。

＜梅雨時の過ごし方＞
私は、最近 TV(テレビ)で見たフルーツサンドを作ってみました。
簡単にできるので皆さんも挑戦してみてはいかがですか！！
N.T

## 「梅干し」を使って

今年も梅雨のじめじめ期がやってきました。
なんだか、蒸すやら暑いやらで、食欲もなくなってしまいます。
この時期、気を付けたいのは食中毒。高温多湿は細菌の大好物です。お弁当やおにぎりには防腐効果が期待できる梅干しを入れるようにしましょう。クエン酸パワーで疲れも吹き飛びます。今回は台所に長時間いたくないというあなたに、ささささっと作れてさっぱり食べられるパスタをご紹介します。

## 梅干しと大葉のサラダパスタ

| | |
|---|---|
| 一人分 | スパゲティ　８０～１００ｇ |
| ツナ缶 | |
| 梅干し | 適量 |
| 大葉 | 3 枚くらい |
| 玉ねぎ | 四分の一個 |
| 白ごま | 適量 |
| めんつゆ | 大さじ　3 |
| オリーブオイル | 少々 |

鍋にたっぷりのお湯をわかし、塩少々いれスパゲティをゆでる。ザルにあけたらオリーブオイルをからめておく。梅干しは種を取り包丁でペース状に。大葉は千切り。玉ねぎは薄切りにし水にさらしたあと水気をキッチンペーパー等で絞る。ボウルにめんつゆと、梅干し、ツナを入れよく混ぜる。スパゲティと大葉を加え、皿にもって白ごまを散らせばあとは食べるだけ♪

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 6 月 23 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6773 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

# 通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

## 在宅支援の課題について

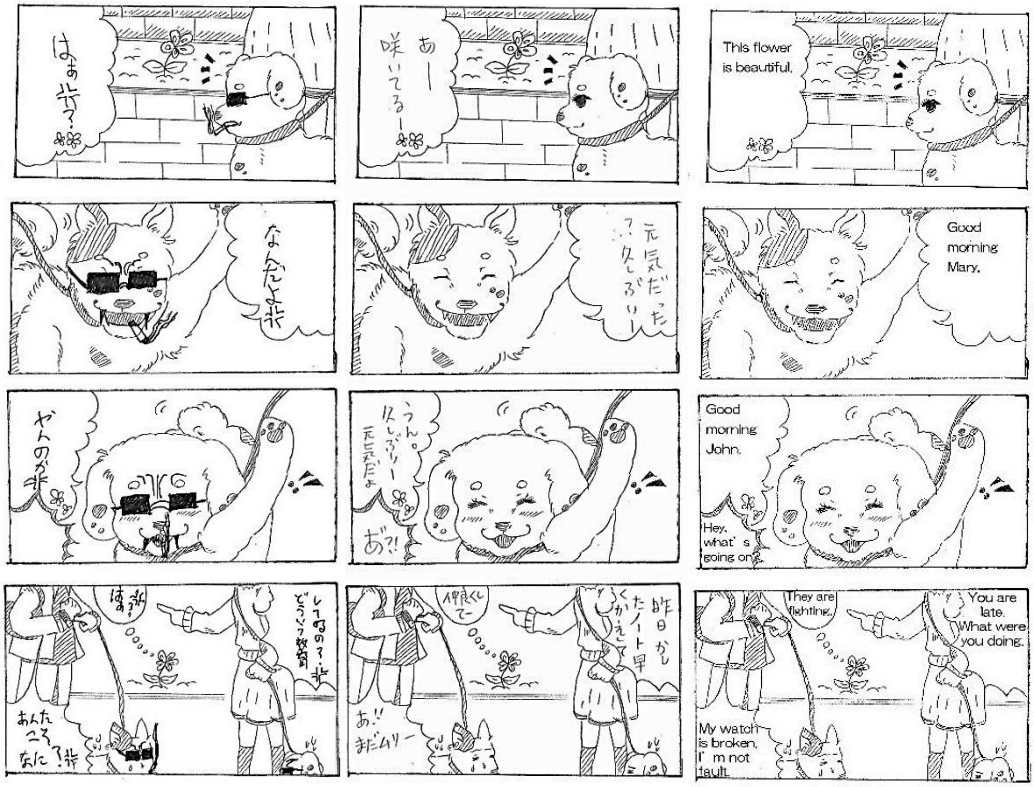
★ぬりえ等、様々な課題がとても楽しくできました。
久しぶりに勉強机向かい集中していたので、少し懐かしい感覚でした。　（よもぎ）

★ヒビキのスタッフは基本「まるなげ」が好きなようで（笑）「こんなにもらっても出来んわ」とか「ヒビキに来る間隔が短い」と言っても「うん。はいこれ」と言っていっぱい課題をくれました。（笑）まぁ―でも途中からそれをさせないように自分で選んだ課題をもっていき、自分のペースで課題が出来るようになりました。

ちょっと好きだったのは新聞の記事に気になった所に線をひき、“思った感想”を書くという事でした。それと「まるなげ」VS「私」と言う戦いがあった（自分ではそう思っている）のだろうとひそかに感じた１ヶ月でした。（笑）

（ぶーたん）

## ＜在宅＞でセリフを競作！




## ＜解除後＞の密を避けて川柳

だいりんの　花火の下で　手が震える　　隆

梅雨の入り　最も売れ筋　扇風機　　若

かえり道　今日のスイーツ　何買おう　　高

いつ来るの　思わせぶりな　十万円　　坪

なつまつり　ふたりゆかたで　手をつなぐ　　隆

コロナ禍の　ありさままるで　戦時中　　光

コロナ禍の　趣味マージャンは　エアマージャン　若

こうえんの　トイレのまえで　いっぷくだ　　池

夏祭り　今年の夏は　無観客　　若

お料理は　なんでもできる　つまよりは　　望

## ＜エレベーターの案内係＞

５月から案内･誘導係がはじまり、緊急事態宣言解除後徐々に来館される方が増え、自分はちゃんと案内できるか毎回不安になりながら受付横に座って待機しています。

それと、開始時間を忘れて遅刻したり、急な体調不良で休んだり、待機中に寝たりしないようにがんばります。　（M.Y.N）

## ＜プログラム紹介　動画鑑賞＞

動画（ユーチューブ）を観ました。好きな音楽や動画を紹介します。

マイケル・ジャクソン、西城秀樹、５次方程式について、HY、EGO・WRPPIN、アシッドブラック・チェリー、MIYAVI 等々…

皆個性的でとても楽しいプログラムです。　（太陽）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 6 月 23 日発行 SSKU 増刊通巻第 6773 号

おり姫の左手

就労移行支援事業
# リボーンプロジェクト
〒114-0032 東京都北区中十条 1－2－18
北区障害者福祉センター 4 F Tel：03-5963-6888

ヒコ星の右手

## 在宅支援を受けた期間はどうだったか？

在宅支援を受けた期間はどうだったかを振り返る。

家の中での業務に違和感を覚えた。在宅業務は思ったほど楽でない。家の中にいるのが苦痛になるが自粛で外出もままならなく、体力や精神力の低下が目立つ。在宅で、家族や誘惑で気になっておちおち集中できない。家では照明が基本的にくつろぎ重視の設計のため、業務に集中しづらい。

在宅支援が明けてから、自宅業務で慣れたため、逆にセンターで作業にするのに戸惑ってしまう。暑い中でマスクは苦痛。手洗い、検温、消毒をするようになった。全体的に 3 密(密閉、密集、密接)を回避することを心がけている。その他のこととしては、家にいることが多く、ネットに入り浸ってしまう。ネット上で様々な人を目にするため、嫌なところまで目立ってしまう。ネット上のトラブルも増加して、誹謗中傷の問題まで噴出した。

実際にコロナ自警団、コロナ不安で無闇に絡んでくる輩が現れ、おちおち街を歩くのが不安になる。他の人の不安定な購買行動に振り回され、必要なものが足りない、購入制限を受けてしまうなど生きにくかった。 (T.M & T.F)

## ＜解除＞明けの茶話会でくつろぐ

最初に、お菓子が 1 人 1 人に小皿に入れて配られました。入ったばかりのメンバーがいらっしゃったので、ひとこと自己紹介を行いました。

質問が書かれた紙を 1 枚取ってその質問に答えます。難しかったけど、楽しかったです。

後半は、『クイズ！いいセン行きま SHOW！！』をやりました。このクイズのルールは、クイズに対しての答えが真ん中の数値だった人が勝ちです。真ん中の数値を当てた人が 100 ポイント、1 番大きい数字と 1 番小さい数字を書いた人はマイナス 50 ポイントです。最終的に、合計得点が多い人が勝ちです。

例えば、「大食いとは寿司でいうと何貫以上食べられる人のことでしょう？」と言うお題に対して数字を書きます。例えば、30、40、50、60、70 と書かれた場合、50 と書いた人が 100 ポイントです。30 と 70 と書いた人がマイナス 50 ポイントです。色んなお題があってかつ最後まで誰が優勝するのか分からなかったので、とても楽しかったです。けど、真ん中を狙うのが難しかったです。

皆でワイワイ出来てとても楽しかったです。今回のクイズも楽しかったけど、ほかにも色々な企画をやってみたいです。 (Y.I)

## 名主の滝

今回の活動は、ストレッチをやってから、名主の滝公園という場所に行きました。ストレッチでは、ラジオ体操の様なものから、ヨガに近いものなど、体の部位を伸ばす運動が、多かったです。

私は、体が固いので、大変でした。名主の滝では、自然が多くて、男滝や、女滝と言う、名前が特徴的な滝が多かったです。特に印象に残ったのは、自然が多く、地面がコンクリートなどで、舗装されておらず、土の地面が印象的でした。それと、ボウフラやら、蚊など、虫もそれなりにいたので、「ああ、自然だなぁ」となっていました。「名主の滝」公園という名前の通り、水辺が多かったです。それと、都内では、自然が多いところは希少だと思うので、貴重な体験でした。(T.Y)

## 趣味と仕事

リボーンプロジェクトの訓練生になってみて、今回は自分の抱負について、書いてみます。

それは「趣味と仕事のメリハリをつける。」というものです。この経緯に至ったのは、私の性格上、好きな事を仕事にしてしまうと、その仕事を嫌いになってしまうと、趣味まで、嫌いになる…ということに気付いたからです。そこから、趣味は趣味、仕事は仕事。と割り切るようになりました。

そして、その根本には、どちらも楽しみたい…というものがあるからなのです。割り切ったほうが、ダラダラせずにキッパリ決めていく事が出来るからです。その中で、自分の得意を伸ばして、行けたら良い…と考えて、行動していきたいです。

(T.Y)

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 6 月 23 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6773 号

# 2020 年度 NPO 法人わくわくかんの総会報告

## 書面議決に意見確認、就労支援は 1.3 倍増に

ロシアのイリーナさんのアマビエ

5 月 21 日（木）に赤羽会館で第 21 回定期総会を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、書面による決議をはじめて活用された方が多くいらっしゃいました。そのため少人数での開催となりましたが、総会の報告を致します。

まず冒頭に、書面議決書に書かれていたご意見の確認を行いました「あとどの位増えれば赤羽の配食サービスは黒字になるのか」「新事業についてこのようなときに成功は疑問」「響の木曜日のプログラムを充実させるのはどうか」という意見があったことを確認しました。

第 1 号、2 号議案では、2019 年度の事業報告と決算報告でした。就労支援センターは新規登録が 103 名で昨年の 1.3 倍増加。配食は赤羽ではマイナスだが、センターの給食の委託により全体では黒字。就労移行は予算よりも減収。法人全体としては、皆さんの頑張りで 13,200 万円の収入。支出は 13,111 万円。約 80 万円程、翌年に繰り越すことが出来ました。

第 3 号議案では、監事の鶴田さんから報告。退任の安部さんの代わりにもう 1 名監事さんの選任をお願いしたい提案がありました。

第 4 号、5 号議案では 2020 年度の各事業計画と予算案の確認を行いました。今年度は、引き続き配食の運営の方法、方向性についての検討、また理事長より新事業計画（案）についての説明があり、今後検討していくことになりました。

新型コロナウイスの影響で配食は大口のお客様は減少しましたが、個人宅への配達は若干増え、その他の事業も個別支援や在宅支援に切り替え今のところは、大きな影響は出ていませんが、今後に対しての備えは必要です。全体予算は昨年よりも 450 万円ほど増えて、約 13,470 万円。

第 6 号議案の役員変更案では、現任者は継続。監事 1 名の欠員があり、適任者を探すこととなりました。

第 7 号議案では、北区障害者福祉センターの給食事業の受託が 2020 年度も継続。同じく障害者福祉センターのエレベーター工事に伴う案内係業務の受託がありました。全議案了承され、終了となりました。

---

## 連名でインクルーシブ雇用議連に
## コロナで 3 項目を申し入れ

**5 月 29 日、障がい者十数団体は、連名して「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、障害のある人の就労支援に関する要望」を、超党派のインクルーシブ雇用議連（川崎二郎会長）宛に三項目を申し入れました。インクルーシブ議連は 6 月 15 日に開催されました。**

①障害者総合支援法に基づく障害のある人の働く場（地域活動支援センターを含む）の中には 新型コロナウイルス感染拡大の影響で 仕事が激減し、生産活動の大幅な減収のため、障害のある人への工賃や賃金の支払いが困難になっているところがあります。障害のある人の所得保障の観点から、こうした事業所における生産活動の減収を補うための措置や、通常の工賃や賃金を補償するための措置等についての検討を政府に求めてください。

②新型コロナウイルス感染症の拡大が障害者雇用に及ぼしている影響を把握するとともに、必要であれば、休暇・休業中の障害を持つ社員に対する福祉的な支援など、機動的かつ柔軟な支援を提供することを 政府に求めてください。

③今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、解雇、雇い止めが加速しています。 弱い立場の方たちにしわ寄せが無いように、障害者雇用が維持されるための具体的な施策を講じるよう 政府に働きかけてください。

障害者雇用支援協会／全国社会就労センター協議会／ゼンコロ／全国就労移行支援事業所連絡協議会／共同連／ダイバーシティ就労支援機構／全国精神保健職親会／KHJ 全国ひきこもり家族会連合会／きょうされん／全国就業支援ネットワーク／全国障害者雇用事業所協会／インクルーシブ雇用議連市民側事務局

### ◆じっちゃんのコロナ「考え方改革」◆

今回のコロナウイルスで「そんなに急ぐなよ、大丈夫だからさ」と感じました。スーパーは夜中にやってなくて良いし、繁華街へ行かないで部屋にゆったり過ごせば良いのです。鬱になってどうしてもならば一ヶ月仕事を休んで良いのです。それでも怒る人には「まぁまぁ、お互い様だからさ。良いじゃないの。仕事は充分回るだろ」と笑って肩を叩いて言ってあげたいです。ゆったりした温かい皆が生き易い世の中になって欲しいです。　（G）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 7 月 27 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6801 号

# 新規事業を立ち上げる構想で全員議論

わくわくかんが行っている事業の多くは、障害福祉サービスを利用しているものですが、株式会社による就労移行支援事業が乱立するなど、近年障害福祉サービスを取り巻く環境は、非常に厳しくなっています。その中で、わくわくかんの経営状況も、以前と比べて厳しさを増していると言わざるを得ません。

こういった苦境を打開するために、障害福祉サービスに過度に依存しない法人運営を確立しようと、新規事業を立ちあげる構想が浮かび上がってきました。高齢者向け住宅と事業拠点を組み合わせた地域づくりに、非常に大きな実績を持っていて、北区に隣接する豊島区でもプロジェクトを展開している「コミュニティネットワーク協会」と連携しつつ、今年に入って１月、３月、５月、６月と４回にわたって職員研修が開催されました。当初は、戸惑う職員も多かったですが、新しいことに取り組もうという機運が、少しずつ生まれてきているように感じます。

６月の職員研修では、３グループに分かれて、Ｋ Ｊ法を使ったワークショップを行いました。常勤の職員は全員参加し、理事の方や当事者の職員も合わせ、20 名以上が参加して大変熱気のあるワークショップとなりました。わくわくかんが引き継いでいくべき長所はどういうものか、新規事業はどういう性格のものにすべきか、非常に活発な議論ができたように思います。

ワークショップの成果の写真

６月の職員研修後、新規事業について話し合うプロジェクトチーム会議が立ち上がり、より具体的な事業内容について、話し合いが持たれています。新規事業の拠点を置く場所や、事業の具体的内容については、企画案がいくつか出されている段階で、これから秋にかけて詰めていくことになるでしょう。コロナウィルス感染症の影響が、どのようになるのか全く不透明な状況ですが、わくわくかんの培ってきた長所を守りつつ、新規事業の立ち上げ行程が、スムーズに進められていくことを願っています。　（w）

# 新規事業プロジェクトチーム会議　5 つの想いに整理

これまで３回の新規事業プロジェクトチーム会議が行われました。プロジェクトチーム会議より前に行われた職員研修のワークショップでは、模造紙に「新規事業に求めること」を書いて、付箋をグルーピングしました。そして各グループにタイトルをつけるという作業をワークショップで行いました。新規事業ミーティングでは、そのタイトルから、参加者それぞれの想いに合うものを１人５つをピックアップしました。たとえば「先駆性」「対等性」「多様性」「黒字化」「地域制」など。そしてそれを基に、どんな事業を行っていきたいかをそれぞれの参加者が発表し合いました。そして新規事業理念（案）がまとめられ、現在は事業の内容を話し合っています。新規事業の話が出て以来、これまでリサイクル事業、コミュニティカフェ、葬祭事業、除菌清掃事業、クリーニングなど、数々のアイディアが生まれてきました。事業所見学と話し合いにより、これからより具体的なイメージを膨らませていけたらと思います。　（F）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 7 月 27 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6801 号

1998年10月9日　第三種郵便物認可　（毎月3回8の日発行）
2020年6月23日発行　SSKU　増刊通巻第6773号

論点

# 緊急事態宣言下　暗くて重たい世界観も大事

新型コロナウィルスが猛威を振るっている。三密を避け、活動の自粛、中止が国や東京都から要請されている。障がい当事者活動は不要不急の活動ではない。必要急務である。

私が当事者活動を通じて発信したいことは二点ある。まず、二十四時間テレビ的な前向き元気な身体障がい者像はあらためるべきだということ。障がい者、特にメンタルを病んでいる精神障がい者の実像は暗くて重たい側面がある。ひきこもりに代表されるような、社会から排除された障がい者は決して明るく前向きではない。しかし、人間の多様性を真に包摂した社会を実現するのなら、十のうち一くらいは心配になるほど暗くて重たい世界観があってもよいと思う。明るい前向きさを強制するのはよくないし、それを口実に入院させたり、病院施設に分離隔離するのは、イタリアのように精神病院を解体して地域に障がい者を戻していく社会の実現とはベクトルの方向性が逆だと思う。

そして、第二に社会的弱者に対する虐待の濫用は浅薄な人間関係しか生まないし、腫れ物に触るかのような扱いはとても関係性として違和感があるということ。例えば私がヘルパーのおばあさんに「障がい者虐待だ」と言うと、冗談だから「老人虐待だ」と声がは返ってくる。あまりに関係性が希薄だとほんのささいなことも虐待で、余計ギクシャクした関係性になってしまう。

私の目的としているのは、広く深く精神障がい者を理解し、包摂していく社会の実現だ。だから、時には精神障がい者の社会性の欠如も指摘しないとならないと思う。やまゆり園事件の被告植松は「障がい者は不幸しか生まない」として、障がい者を悪として殺していったが。障がい者は確かに不幸も生むが、それだけではないと主張したい。だから、包摂していく社会とは不足欠如している側面もあらかじめ伝えて、理解していかなければならないと思う。自分にとって不利であっても事実なら伝えていくことは虐待ではない。より長い目で見ると前進ではないかと思う。腫れ物に触るかのような扱いは障がい当事者理解を遠ざける。トライアンドエラー、挑戦と失敗を繰り返して、どこまでが許容範囲なのか、可能性を探っていくことが大事だと思う。　（E.H）

投稿

# 障がい者とこの世界

人は、自分のラインを超えた考えが持てない。だから何でも一括りにしてしまう。私は自分が、障がいある人間になって、いつも思っていた。今は色々な症状があって、細かい分類もされて、携帯で調べればすぐわかるのだけれど、皆の頭に残るのは、精神障がい者や知的障がい者などの言葉だけ。

障がい者と聞いて「頭のおかしい人」と考える人が多い。頑なにそこのラインを越えようとしない。少し、ほんの少しだけの違いなのに、「頭のおかしい人」と言う一括りにしかしない。差別まではいかなくても、それに近いものはあるような気がする。

犯罪者＝「障がい者」と言う人もいる。犯罪をしたらまず「障がい者」と言う人もいる。これは、重大犯罪を犯した人間が、「心神喪失」を毎回言うとか、おかしい振る舞いをしたりするから、イメージを世間の人が作ってしまったのではないかと思う。

でも障がい者だから何も分からないではなく、何も考えないのではなく、ちゃんと倫理がわかる人もいるし、常識がわかる人もいる。本当に様々で、「障がい者」と言って一括りにするって言うのは悲しい事だと思う。

きっとこの世界の人間も障がい者を作っていると私は思う。端から決めつけて、それ以上の理解をしてくれないのだから。

それでも共存して生きていかないといけない。障がい者を「出来ない」とか、「わからない」と端に追いやってしまい、何もない普通の世界を作るのは簡単だけれど、でもこの世界は健常者だけの世界ではないのだから共存していくしかない。

私は、健常者も障がい者もそんなに変わらないと思う。出来ない事は人間なら必ずあるのだから。それが自分だけが困るのか、人の手を借りないとダメな事かの違いだと思う。

区別するのは構わないと思う。でも差別してしまえば、差別されただけの憎悪が生まれるだけで、何の意味もない。そして「障がい者」のイメージも変わらない。区別と差別がちゃんと判断出来る世界にならないとダメなんだろうなと思う。

それには、共存すると言う事が不可欠なのではないかと思う。私はもう少し人の事を考えれる人間が増えるといいなと思うし、人に優しい世界が作られるといいと思う。(k.t)

1998 年 10 月 9 日　　第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 7 月 27 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6801 号

# ジャン・ウォンボンさんを悼む
## 現場を大事にした研究者

ジャン・ウォンボンさん

ジャン・ウォンボン先生が、4 月 17 日(金)の明け方、亡くなられた。
私たちが思い出すのは 2011 年、共同連が「社会的事業所促進法」を求めて、大阪と東京で「第２回日韓社会的企業セミナー」を開いた時に、国会内でジャン・ウォンボンさんが韓国で成立した「社会的企業育成法」で認証された３５３の社会的事業を背景に基調報告を行なったことです。「社会的企業は市民社会において多様な社会的必要を充足させるための国家と市場の空白をうずめる最も積極的な形態の共同生産の主体」と歴史的意義を強調されました。この時わくわくかんはその事務局を担いました。それは今、東京都のソーシャルファーム条例の具体化として問われています。

**ジャン・ウオンボンさんの主な著作**

「社会的経済の理論と実際」／「社会サービス領域において社会的企業の役割と展望」／「社会的経済の代案的概念化」／「社会的経済と協同組合運動」／「社会的企業の制度的同型化の可能性と克服方案」／「韓国における社会的企業の実態と展望」／「韓国の労働統合社会的企業に関する研究」／「障がい者のための労働統合社会的企業の役割と展望：認証社会的企業を中心に」など多数。

### 「社会的経済連帯会議」という在野の活動家と研究家の集まりで出会って

韓国の大学院に通っていた当時、私はかなりの野心家で、日本に帰ったら障害ある仲間と共に社会的企業を始めようと、その準備のため論文を書いていた。
その時、通っていた実習先が、共同連と交流関係にある「障碍友権益問題研究所」で、研究所のスタッフにくっついて参加した「社会的経済連帯会議」という在野の活動家研究家の集まりで出会ったのが、ジャン・ウォンボン氏だった。2005 年の春頃だったと記憶している。
ジャン氏は、博士課程で社会的経済の概念構成について研究しており、ヨーロッパ各国と韓国の社会的経済を類型化し、各国の状況を分析、それらが何を意味するのかを論文にまとめていた。折しも、ノ・ムヒョン政権が貧困や失業者対策として社会的企業に着目し、育成法案を準備している時期であり、ジャン氏の研究は、政府主導ではなく、市民社会が中心となって貧富の格差を克服するための運動レベルで展開されるべきであり、政府の下請けでも市場の穴埋めでもない、新しい代案モデルとなるべきと、在野で活動する人達の意識喚起を促す強力なメッセージと理論的根拠を与えていたように思う。
今は大学で教鞭をとっている院の同期も、「研究者たるもの、現場を離れてはいけない」と、兄さん(ジャン氏)から口癖のように諭されたと話していた。ジャン氏ほど、現場を大事にして現場と共にあり続けた研究者を、私は他に知らない。みんなに優しく、誠実で、現場のために研究を続けてきた人だった。私にとっては、なんでも相談できるお兄さんのような存在でもあり、頼りになる先輩、尊敬する先生だった。訃報はあまりに突然で信じがたく、今でもまた会えるような気がしてならないが、故人のご冥福を心よりお祈りします。

（わっぱの会　清川千春）

# 埼玉県で「ケアラー支援条例」

コロナ災害で大きな打撃を受けているのは医療と介護の現場です。医療現場の危機はよく知られていますが、介護、とりわけ訪問介護は人手不足もあって深刻なまま放置されています。そこでにわかに注目されているのが「ケアラー」の存在です。
ケアラーとは「ケアを広範囲にとらえ、要介護高齢者や身体的・知的・精神的などの障がい者の介護、難病などの看病、あるいは病児や障がい児の療育、さらには依存症やひきこもりなどの家族や知人の世話や気づかいなど、多様なケア役割を担っている人」のことを言います。彼ら／彼女らは、社会連帯を引き受けている大事な存在ですが、その社会的身分は大変不安定です。その安定的な生活を守ることは大事な課題になっています。
3 月 21 日、埼玉県議会は、市民共同提案の議員提案の形で、「ケアラー支援条例」を全会一致で可決、公布の日から施行しました。18 歳未満のヤングケアラーの支援も強調、適切な教育の機会も強調しています。
　しかしこの条例は、「当該従業員がケアラーであると認められた時」には、当人の意向、健康状態、その生活環境等に支援をうたうものの労働待遇については触れていません。むしろ介護労働者としての待遇改善に進むことがもっと明示される必要があるのではないでしょうか。

（H）

1998 年 10 月 9 日　　第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 7 月 27 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6801 号

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 6 月 23 日発行 SSKU 増刊通巻第 6773 号

# 「限りのある世界」 S.K 作

投稿

仕事をこなし 疲れ切ったまま
毎日を 過ごす
何をやっても うまくいかないと
憂鬱になる

生きるって事は 辛いことだと
物思い にふける
それでも 俺は この地で
生き 続ける

青い惑星 この地球の 場所で
運命に 関係なく 全力で生きる

見えるかい？ 限りある世界の 果てが
聞こえるかい？ そらが 語る世界が

毎日 聞こえる 生物の

音の ある世界が

命を 子供の 世代に
年をとり 昔を 思い出すたびに

宇宙の果てから 見た地球は
大した 星じゃない
だけど この星以外に 生物は
見つかって いない

宇宙戦争 なんてものは
エイリアン ではなく
地球から 他の星に 移住した
人間の 戦いだろう

子孫を 残し いつか 死に
繰り返し続く 命の 連鎖が

言えるかい？ 充実した 人生だったと
分かるかい？ なぜ 生きているのかと

生物が 生まれる事が

出来た 奇跡の 世界で

命を 子供の 世代に
年をとり 昔を 思い出すたびに

## 就労支援センター北わくわくかん

登録者（2020 年５月末） 937 名
就職者 ３名（事務１、軽作業２）

### 先月 ご協力いただいた皆様

東京都労働局・東京都精神保健福祉民間団体協議会・北区障害福祉課・北区健康推進課・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉センター・ハローワーク王子、池袋、飯田橋、上野・東京障害者職業センター・東京しごと財団・東京都立精神保健福祉センター・東京都立王子特別支援学校・北区社会福祉協議会・北区教育委員会・和希君を支える会・津久井やまゆり園事件を考え続ける会・社会福祉法人月山福祉会・NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会・企業組合ワーカーズコレクティブキャリー・NPO 法人ゆめ風基金・あしたや共働企画・反貧困ネットワーク・特定非営利活動法人のらんど・ＮＰＯ法人ソーシャル・クリエイターズ・企業組合あうん・共働事業所よって屋・シャロームの家・NPO 法人太陽と緑の会・認定ＮＰＯ法人やまぼうし・エルコープ協同組合運動研究会・人々の経済政策研究会·新型コロナ災害緊急アクション・だるま舎等、お世話になりました。

### グループホームわくわくかん

グループホーム事業ではこれから第三者評価を受けるにあたり、手順やスケジュール、必要な資料についての説明を受けた所です。評価項目の一つに「リスクマネジメントへの取り組み」という、災害や深刻な事故等に遭遇した場合の対応があります。通所事業では事業を休止する事が出来ますが、利用者さんが生活している GH では休止にする事は出来ず、最後の砦であり命を預かっている場所とも言えます。今回のコロナでは幸い感染者はまだいませんが「災害は忘れた頃にやってくる」大事態が起きた時、入居者の皆さんをどの様にして守る事が出来るのか…。第三者評価を通し、きちんと向き合っていきたいと思います。

### ▼編集後記▼

東京はコロナに翻弄される毎日だが、「りぼん便り」と交換していただいている『月山福祉会たより』の機関紙が楽しい。年間の月山・新町の利用者延べ人数は 13,987 人で昨年度より 0.7%増加、就労Ｂが 54 名、就労移行 2、生活介護 14 名の 70 名で過去最高という。6 月９日、月山ドリーム牧場に親子牛３組 6 頭、肥育牛８頭、繁殖牛２２頭の３６頭が放たれたという。すでにある月山高原牧場より１００ｍほど高い、一番高い所で６１５ｍもあるという。初めての「クラウドファンディング」が２月中旬から実施され、コロナの向かい風をはねのけて 15 日間を残して見事 1 千万円を達成した。高馬力トラクターと草刈機、観察用のドローン、四輪駆動軽トラックなどに充てられるという。わがわくわくかんの新規事業も問われる処だ。

発行所 郵便番号 157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 100 円（会費に含）